



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月6日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 名古屋銀行

コード番号 8522 URL <https://www.meigin.com/>

代表者 （役職名）取締役頭取 （氏名）藤原 一朗

問合せ先責任者 （役職名）常務執行役員経営企画部長 （氏名）飯田 篤 TEL 052-951-5911

配当支払開始予定日 —

特定取引勘定設置の有無 無

決算補足説明資料作成の有無：有 決算補足説明資料は決算短信に添付しております。

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	92,943	22.3	23,197	36.3	17,060	40.2
2025年3月期第3四半期	75,970	△4.5	17,016	50.4	12,165	54.0

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 39,163百万円（－％） 2025年3月期第3四半期 △8,122百万円（－％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	346.83	—
2025年3月期第3四半期	246.68	—

（注）当行は、2025年9月30日を基準日、10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	6,235,491	310,800	5.0
2025年3月期	5,770,358	276,531	4.8

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 310,800百万円 2025年3月期 276,531百万円

（注）「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	110.00	—	160.00	270.00
2026年3月期	—	150.00	—		
2026年3月期（予想）				50.00	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当行は、2025年9月30日を基準日、10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。

2026年3月期（予想）の1株当たり期末配当金については当該株式分割後の金額を記載し、1株当たり年間配当金合計は株式分割の実施により単純合算できないため「—」としております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は150円00銭、1株当たり年間配当金合計は300円00銭となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	
通期	122,400	19.1	26,800	28.2	19,400	31.7	円 銭 394.33

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
2. 当行は、2025年9月30日を基準日、10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。1株当たり当期純利益の額については、当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 6 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	49,366,461株	2025年3月期	49,366,461株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	169,239株	2025年3月期	188,994株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	49,189,297株	2025年3月期3Q	49,314,138株

（注）当行は、2025年9月30日を基準日、10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算出しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

目次

頁

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
【参考】四半期決算補足説明資料	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げや雇用環境の改善等を背景に底堅く推移し、穏やかな回復基調を維持しました。世界経済は、ハイテク株を中心に過熱感が警戒され下落基調となる場面もあったものの、米国と主要貿易相手国の通商協議に進展が見られたことに加え、米国の追加利下げ観測等を支えに、欧米各国の主要株価指数が最高値を更新するなど堅調な推移となりました。その一方で、地政学リスクや資源価格の変動、国内では新政権の動向や日中関係の悪化の影響等、不安定な要素も多く、景気の先行きは依然として注意が必要な状況が続いております。

このような経済状況下、当行の連結ベースでの経営成績は以下のとおりとなりました。

グループ全体の経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金等が増加したことを主な要因として、前年同期に比べ16,973百万円増加し92,943百万円となりました。

経常費用は、預金利息等が増加したことを主な要因として、前年同期に比べ10,792百万円増加し69,745百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期に比べ6,180百万円増加し23,197百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ4,895百万円増加し17,060百万円となりました。

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりであります。

① 銀行業務

経常収益は、前年同期に比べ16,610百万円増加し72,995百万円となりました。セグメント利益は、前年同期に比べ6,244百万円増加し22,979百万円となりました。

② リース業務

経常収益は、前年同期に比べ605百万円増加し17,473百万円となり、セグメント利益は、前年同期に比べ84百万円減少し510百万円となりました。

③ カード業務

経常収益は、前年同期に比べ52百万円減少し1,836百万円となり、セグメント利益は、前年同期に比べ95百万円増加し489百万円となりました。

④ その他業務

経常収益は、前年同期に比べ105百万円減少し2,259百万円となりました。セグメント利益は、前年同期に比べ28百万円減少し36百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態につきまして、総資産は、貸出金及び現金預け金の増加等により、前連結会計年度末に比べ465,132百万円増加し6,235,491百万円となり、負債は、預金の増加等により、前連結会計年度末に比べ430,863百万円増加し5,924,691百万円となりました。また、純資産は、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ34,269百万円増加し310,800百万円となりました。

主要な勘定である貸出金は、前連結会計年度末に比べ190,296百万円増加し4,180,626百万円、有価証券は、前連結会計年度末に比べ77,036百万円増加し1,013,469百万円、また、預金等（譲渡性預金を含む）は、前連結会計年度末に比べ420,704百万円増加し5,446,884百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日に公表しました通期の業績予想を修正しております。

詳しくは本日（2026年2月6日）付で別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
現金預け金	711,182	892,918
コールローン及び買入手形	1,196	5,792
商品有価証券	2	60
有価証券	936,433	1,013,469
貸出金	3,990,329	4,180,626
外国為替	4,473	4,761
リース債権及びリース投資資産	42,047	45,104
その他資産	27,959	35,995
有形固定資産	41,654	41,817
無形固定資産	1,025	597
退職給付に係る資産	21,010	21,232
繰延税金資産	866	844
支払承諾見返	9,429	10,054
貸倒引当金	△17,252	△17,782
資産の部合計	5,770,358	6,235,491
負債の部		
預金	4,790,183	5,384,984
譲渡性預金	235,996	61,900
コールマネー及び売渡手形	—	8,050
借入金	367,700	367,936
外国為替	680	420
社債	10,000	10,000
信託勘定借	1,478	1,516
その他負債	52,045	44,170
賞与引当金	1,137	323
役員賞与引当金	15	12
退職給付に係る負債	263	258
役員退職慰労引当金	35	36
睡眠預金払戻損失引当金	49	18
偶発損失引当金	1,308	1,430
利息返還損失引当金	24	24
繰延税金負債	20,629	30,768
再評価に係る繰延税金負債	2,847	2,783
支払承諾	9,429	10,054
負債の部合計	5,493,827	5,924,691
純資産の部		
資本金	25,090	25,090
資本剰余金	21,241	21,249
利益剰余金	173,486	185,602
自己株式	△429	△387
株主資本合計	219,389	231,556
その他有価証券評価差額金	47,959	70,717
繰延ヘッジ損益	—	△3
土地再評価差額金	3,785	3,647
退職給付に係る調整累計額	5,396	4,882
その他の包括利益累計額合計	57,141	79,244
純資産の部合計	276,531	310,800
負債及び純資産の部合計	5,770,358	6,235,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
経常収益	75,970	92,943
資金運用収益	37,236	51,733
(うち貸出金利息)	23,694	32,795
(うち有価証券利息配当金)	12,252	15,591
信託報酬	32	51
役務取引等収益	9,726	11,346
その他業務収益	20,959	21,505
その他経常収益	8,014	8,306
経常費用	58,953	69,745
資金調達費用	6,806	14,566
(うち預金利息)	2,448	10,677
役務取引等費用	2,672	3,048
その他業務費用	25,175	25,004
営業経費	22,893	24,755
その他経常費用	1,406	2,370
経常利益	17,016	23,197
特別利益	3	343
固定資産処分益	3	343
特別損失	175	37
固定資産処分損	126	37
減損損失	49	—
税金等調整前四半期純利益	16,843	23,503
法人税等	4,678	6,442
四半期純利益	12,165	17,060
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,165	17,060

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	12,165	17,060
その他の包括利益	△20,287	22,102
その他有価証券評価差額金	△19,467	22,757
繰延ヘッジ損益	14	△3
土地再評価差額金	—	△138
退職給付に係る調整額	△834	△513
四半期包括利益	△8,122	39,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,122	39,163

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の処理)

当行及び連結子会社の税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(セグメント情報等の注記)

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	銀行業務	リース業務	カード業務	計		
経常収益						
外部顧客に対する経常収益	55,360	16,709	1,722	73,792	2,308	76,101
セグメント間の内部経常収益	1,025	157	166	1,348	57	1,406
計	56,385	16,867	1,888	75,141	2,365	77,507
セグメント利益	16,734	594	394	17,723	64	17,788

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療システム事業、ICT支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額

(単位:百万円)

経常収益	金額
報告セグメント計	75,141
「その他」の区分の経常収益	2,365
セグメント間取引消去	△1,406
貸倒引当金戻入益	△131
四半期連結損益計算書の経常収益	75,970

(注) 一般企業の売上高に代えて経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の経常利益計上額

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	17,723
「その他」の区分の利益	64
セグメント間取引消去	△771
四半期連結損益計算書の経常利益	17,016

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	銀行業務	リース業務	カード業務	計		
減損損失	49	—	—	49	—	49

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	銀行業務	リース業務	カード業務	計		
経常収益						
外部顧客に対する経常収益	71,772	17,311	1,674	90,757	2,230	92,988
セグメント間の内部経常収益	1,223	161	162	1,547	29	1,576
計	72,995	17,473	1,836	92,305	2,259	94,565
セグメント利益	22,979	510	489	23,979	36	24,015

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療システム事業、ICT支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額

(単位:百万円)

経常収益	金額
報告セグメント計	92,305
「その他」の区分の経常収益	2,259
セグメント間取引消去	△1,576
貸倒引当金戻入益	△45
四半期連結損益計算書の経常収益	92,943

(注) 一般企業の売上高に代えて経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の経常利益計上額

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	23,979
「その他」の区分の利益	36
セグメント間取引消去	△817
四半期連結損益計算書の経常利益	23,197

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,017百万円	1,888百万円

【参考】四半期決算補足説明資料
表紙

1. 損益の状況（単体）	11
2. リスク管理債権及び金融再生法開示債権の開示（単体）	12
3. 自己資本比率（国際統一基準）（単体・連結）	13
4. 時価のある有価証券の評価損益（単体）	14
5. 預金等・貸出金の残高（単体）	15
（参考）預り資産残高（単体）	15
6. 単体決算要約	16

1. 損益の状況(単体)

当第3四半期の経常収益は、729億円(通期予想比76.4%)となりました。
 経常利益は229億円、四半期純利益は171億円となりました。
 与信関連費用は14億円となりました。

【単 体】

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	2025年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)(A)	2026年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)(B)	比 較 (B)-(A)
経常収益	56,342	72,940	16,597
業務粗利益 ①	30,817	39,662	8,845
資金利益	31,314	38,236	6,921
役務取引等利益	7,020	8,317	1,297
その他業務利益 (うち国債等債券損益) ②	△7,517 (△7,666)	△6,891 (△7,024)	625 (641)
経費(除く臨時処理分)(△) ③	22,132	23,393	1,260
人件費	12,549	13,384	834
物件費	8,014	8,340	325
税金	1,568	1,667	99
実質業務純益(①-③) ④	8,684	16,269	7,584
コア業務純益(④-②)	16,351	23,293	6,942
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	16,561	23,252	6,691
一般貸倒引当金繰入額(△) ⑤	—	△146	△146
業務純益	8,684	16,416	7,731
臨時損益	7,995	6,496	△1,499
不良債権処理額(△) ⑥	341	1,603	1,261
貸倒引当金戻入益 ⑦	127	—	△127
償却債権取立益	2	0	△2
偶発損失引当金戻入益 ⑧	—	—	—
株式等関係損益	7,453	8,031	578
その他臨時損益	753	67	△685
経常利益	16,680	22,912	6,232
特別損益	△163	304	468
税引前四半期純利益	16,516	23,217	6,700
法人税等(△)	4,349	6,077	1,728
四半期純利益	12,166	17,139	4,972
与信関連費用(⑤+⑥-⑦-⑧)	214	1,456	1,241

2026年3月期 通期予想 (12ヵ月間)
95,500

26,000

19,100

2. リスク管理債権及び金融再生法開示債権の開示(単体)

リスク管理債権及び金融再生法開示債権の不良債権額は、2024年12月末比48億円減少して789億円となり、対象債権合計比は、1.85%となりました。なお、2025年3月末比では、12億円減少しております。

【単 体】

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2024年12月末 (A)	2025年12月末 (B)	比 較 (B)－(A)	(参考) 2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,123	9,052	△70	9,398
危険債権	62,322	58,121	△4,200	58,072
要管理債権	12,369	11,818	△551	12,760
三月以上延滞債権	1,218	602	△615	914
貸出条件緩和債権	11,151	11,215	64	11,845
合計	83,815	78,993	△4,822	80,231

対象債権合計	4,008,977	4,268,199	259,221	4,070,435
対象債権合計比(%)	2.09	1.85	△0.24	1.97

3. 自己資本比率(国際統一基準)(単体・連結)

「第3の柱(市場規律)」に基づく「自己資本の構成に関する開示事項」並びに「レバレッジ比率に関する開示事項」及び「流動性カバレッジ比率に関する開示事項」につきましては当行ホームページ(<https://www.meigin.com/>)に掲載しております。

【単 体】

(単位:億円)

〔速 報 値〕	2025年9月末	2025年12月末
1. 単体総自己資本比率(4/7)	11.75%	12.12%
2. 単体Tier1比率(5/7)	10.27%	10.67%
3. 単体普通株式等Tier1比率(6/7)	10.27%	10.67%
4. 単体における総自己資本の額	3,079	3,235
5. 単体におけるTier1資本の額	2,691	2,848
6. 単体における普通株式等Tier1資本の額	2,691	2,848
7. リスク・アセットの額	26,199	26,686
8. 単体総所要自己資本額(7×8%)	2,095	2,134

【連 結】

(単位:億円)

〔速 報 値〕	2025年9月末	2025年12月末
1. 連結総自己資本比率(4/7)	11.99%	12.35%
2. 連結Tier1比率(5/7)	10.51%	10.90%
3. 連結普通株式等Tier1比率(6/7)	10.51%	10.90%
4. 連結における総自己資本の額	3,194	3,353
5. 連結におけるTier1資本の額	2,799	2,958
6. 連結における普通株式等Tier1資本の額	2,799	2,958
7. リスク・アセットの額	26,620	27,133
8. 連結総所要自己資本額(7×8%)	2,129	2,170

(注) 自己資本比率の算出にあたっては、以下の手法を採用しております。

- ・信用リスクに関する手法: 標準的手法
- ・オペレーショナル・リスクに関する手法: 標準的計測手法

小数点第2位未満を切捨てにて表示しております。

4. 時価のある有価証券の評価損益 (単体)

その他有価証券の評価損益は、2024年12月末比143億円増加して、1,018億円の評価益となりました。

【単 体】

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2024年12月末			2025年12月末			(参考) 2025年3月末		
	評価損益			評価損益			評価損益		
		評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	△3,152	—	3,152	△6,750	—	6,750	△7,991	—	7,991
債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	△3,152	—	3,152	△6,750	—	6,750	△7,991	—	7,991
その他有価証券	87,476	104,678	17,201	101,815	123,585	21,770	68,889	89,069	20,179
株式	101,772	101,846	73	114,892	114,939	46	85,516	85,575	59
債券	△12,576	16	12,593	△21,312	—	21,312	△17,187	29	17,217
その他	△1,719	2,815	4,534	8,234	8,645	411	560	3,463	2,902

(注) 「評価損益」は、「満期保有目的」については貸借対照表計上額と時価の差額を計上し、「その他有価証券」については時価評価しておりますので貸借対照表計上額と取得原価の差額を計上しております。

5. 預金等・貸出金の残高(単体)

預金等残高(預金+譲渡性預金)は、2024年12月末比3,380億円増加し、5兆4,547億円となりました。そのうち個人預金は、2024年12月末比159億円増加し、2兆7,129億円となりました。

貸出金は、2024年12月末比2,557億円増加し、4兆2,008億円となりました。そのうち消費者ローンは2024年12月末比527億円増加し、1兆2,975億円となりました。

【単 体】

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	2024年12月末 (A)	2025年12月末 (B)	比 較 (B) - (A)	(参考) 2025年3月末
預金等	5,116,717	5,454,727	338,010	5,033,279
うち個人預金	2,697,017	2,712,978	15,960	2,654,553
貸出金	3,945,091	4,200,886	255,794	4,005,538
うち消費者ローン	1,244,767	1,297,543	52,776	1,254,746

(注) 預金等=預金+譲渡性預金

(参考) 預り資産残高(単体)

【単 体】

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	2024年12月末 (A)	2025年12月末 (B)	比 較 (B) - (A)	(参考) 2025年3月末
投資信託	152,774	193,941	41,166	151,704
公共債	15,349	19,409	4,060	15,917
保険商品	410,823	449,932	39,109	420,793
外貨預金	21,680	22,192	512	21,732
合計	600,627	685,475	84,848	610,148

6. 単体決算要約

※ () は対前年同四半期増減額

<収益>		<費用>	<利益>
資金運用収益 527億円(146億円増) 事業性貸出・住宅ローン・有価証券等による利息収益	—	資金調達費用 144億円(77億円増) 各種預金に対して支払う利息等	= ①資金利益 382億円(69億円増)
役務取引等収益 115億円(16億円増) 投資信託の販売や振込みなど各種サービスによる受取手数料	—	役務取引等費用 32億円(3億円増) 支払為替手数料等銀行が支払う手数料	= ②役務取引等利益 83億円(12億円増)
その他業務収益 3億円(0億円増) 外国為替売買益や債券の売却益等	—	その他業務費用 72億円(5億円減) 国債等債券の売却損等	= ③その他業務利益 △68億円(6億円増) うち国債等債券損益 △70億円(6億円増)
			+
			+
			+
業務粗利益 396億円(88億円増) ①資金利益＋②役務取引等利益＋ ③その他業務利益	—	一般貸倒引当金繰入額 △1億円(1億円減) 経費(除く臨時処理分) 233億円(12億円増)	= 業務純益 164億円(77億円増)
業務純益 164億円(77億円増)	+	臨時収益 83億円(2億円増) 株式等売却益、 貸倒引当金戻入益、 償却債権取立益等	= 経常利益 229億円(62億円増)
		臨時費用 18億円(17億円増) 不良債権処理及び株式等償却に関する費用等	
経常利益 229億円(62億円増)	+	特別利益 3億円(3億円増) 固定資産処分益等	= 税引前四半期純利益 232億円(67億円増)
		特別損失 0億円(1億円減) 固定資産処分損、 減損損失等	
税引前四半期純利益 232億円(67億円増)	—	法人税等 60億円(17億円増)	= 四半期純利益 171億円(49億円増)

業務純益から一般貸倒引当金繰入額や債券の売却損益等を控除した収益力を示す指標として、実質業務純益・コア業務純益があります。

◎実質業務純益 162億円＝業務純益 164億円＋一般貸倒引当金繰入額 △1億円

◎コア業務純益 232億円＝実質業務純益 162億円－国債等債券損益 △70億円

※国債等債券損益(5勘定尻)・・・債券売却益＋債券償還益－債券売却損－債券償還損－債券償却